

ナマステ

特定非営利活動法人

自然文化誌研究会 会報誌

109号

2012 年 10 月 1 日発行号

この夏も皆さまにいっぱい会えました～、感謝です！！

「冒険学校 やまめキャンプ」開催中の 8 月 11 日以降、20 日間以上まとまった雨の降らなかった小菅村、なかなか天候が安定しない夏でした。昨年と同様、山は乾燥し、今年もきのこは期待できないかなあ・・・と心配していましたが、きのこ出始めていますよ！！

台風 17 号も楽チンに通過し、いよいよ秋を迎えます～ご一緒に秋の味覚を楽しみましょう！



きのこ採りの成果



ログハウス第 2 弾も順調に進んでいます。 小菅の川も満喫しました！！



○ こんな活動もやっています！！

6 月 10 日、青梅市の釜ヶ淵市民センターにて、「青梅環境フェア」が開催。小菅村からヤマメの塩焼きを出店し、本会の案内を行いました～。



「源流きらり」も一緒に出店しました。

○「日本エコミュージアム研究会 研究大会」で発表！

6 月 9 日に、都内の東京工業大学で開催されました。小菅村での本会の取り組みを発表してきました～。



ナマステ 109 号 —もくじ—

夏の活動報告	2
秋～冬の活動のご案内	10
INCHのゆかいな仲間たち VIOL.4	11
植物と人々の博物館 VOL.9	12
新連載 小菅村の動き VOL.9	13
事務局だより	14



■ 活動報告 ■

その1 「のびと講座 源流での登山道整備」報告 7.28~30(2泊3日)

今年も行ってきました、登山道整備@甲武信小屋！今年も小学生(最年少は小学 2 年生！)～大人までの参加でした。毎年新しい発見のあるこの登山道整備、今年も例外ではなく、とっても楽しいスペシャルな時間を過ごすことができました。今年の登山道整備は、屈強なメンズ&徳さんチームと小学生・(か弱い)女の子&づめちゃんチームに別れ、それぞれ作業を行いました。小学生・女の子&づめちゃんチームでは、小屋のテント場の修復と薪運び・薪積みなどを行いました。おやつには手づくりのたい焼きと入れたてのコーヒーをご馳走になり、ご飯はいつも美味しく、とっても楽しい 2 泊 3 日でした。今年もありがとうございました！また来年もよろしくおねがいします！少しでも興味のある方は是非一緒に汗を流しましょう！（はるこ）

▽川上村より入山して甲武信小屋を目指します。



▽途中で現れる冷たくて美味しい水！本当に美味しいです！



▽テント場の整備



▽薪運び(ニノ宮金次郎風)

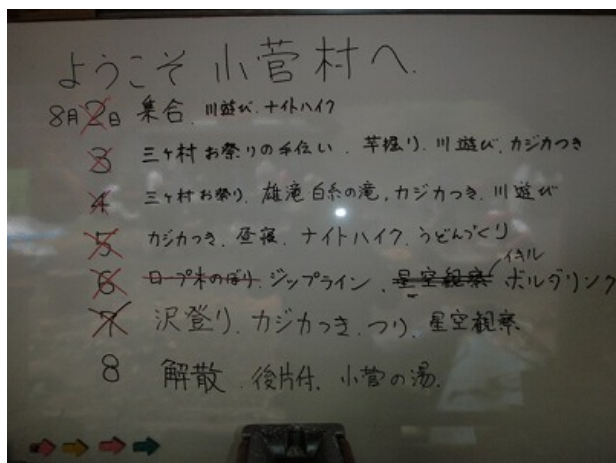


▽作業の後の集合写真



その2 冒険学校「こすげ冒険学校」報告 8.2~8.8(6泊7日)

プログラムが充実し、体制が整った証であると思います。今年から「こすげ冒険学校」は、大滝村の時と同じように、6泊7日での開催となりました。参加者9名、スタッフは総勢20名の和やかな6泊7日となりました。



GWに植えたジャガイモは、イノシシの被害もあり、10kg程(昨年の1/10)の収量に……残念。



小菅村アドベンチャークラブのご指導で、ボルタリングとジップライン(滑車で下るもの)を行いました。この技術が、翌日の沢登りにも活かされました！晴れていれば、ロープ木登りを行う予定だったのです～。



ほぼ毎日、カジカ突きへ行きましたね～。一度、自分で獲ることができれば(感覚が分かれば)、あとは自分でできるようになったね。魚を探す粘りが重要だね！！



『こすげ冒険学校をおえて』 松井達希くん(小3)

一番楽しかったのは、さわのぼりです。いろいろな岩や石があっておもしろかったです。ほかに、初体験もいっぱいやったので嬉しかったです。特に良かったのは流れ星です。町中ではあまり見られないので、うれしかったです。カジカつきではカジカはどんな魚なのか、どうつかまえるのか分かったし、自分でも獲れたので良かったです。お祭りに行き、アパターの格好になるとは思いませんでした。滝を見に行ったらそこで飛び込むのは来る時からかかえていませんでした。ジップラインは風が来て、気持ちよかったです。ボルタリングはいろいろな形のボルタリングがあって楽しかったです。自然な川でも遊べたので貴重な体験だったと思います

スタッフの声より:「大地くんの成長がものすごいね。危険なことを教えてあげたり、火付けやカジカの技術を教えてあげたり、すごいね！」とのこと。

キャンプ中に「三ヶ村祭典(役場のある地区)」のお祭りがありました。前日の花づくりでお手伝いに行って、お祭り当日も行きました・・・みんなそれぞれ仮想して・・・(詳細は横山くんの感想に)。



最終日の修了式。佐々木村長より「修了証」が参加者全員に渡されます。この後は小菅の湯に入って、6泊7日のキャンプ生活を洗い流しました。



みんな6泊7日おつかれさまでした！来年も待ってるよ
♪ 良い冒険学校になりました！ (事務局)

2012 冒険学校感想文

横山昌佳(まーしー)

目が覚めるとそこは仮装大会だった。

ジャック・スパロウを筆頭に、AVATARがおり、カルシファーがおり、「ラピュタ」のロボットに「魔女の宅急便」のキキに、あれにこれにと、目をパチクリさせて笑い出さずにいられないような、そんな暮れ時の一幕だった。四日の夜。村のお祭りに出かける前の出来事で、我らが船長、いや村長たる佐々木のおっちゃんに触発され、皆思い思いの変身を遂げたのだ。

それにしても、皆、かわいいったらない。うれしそうっらない。AVATAR のたつきは顔が真っ青なので「まさお」と命名されるし、しんごはカルシファーの団扇をもう一つ作るし、

川見美鈴さん(小3)からのお手紙

みれいはボルタリングで4連勝したことが嬉しいです。シューっていうやつ(ジップライン)も楽しかったです。沢登りで滝まで行ったのがうれしかったです。ブランコも世界に一つしかないと考えたら嬉しいです。お料理を営めてもらってもっとやりたくなりました。ピアノがあったらもっと楽しくなると思います。

7泊8日がもうすぐ終わります。美鈴たちは、みんなより一日早く帰りました。バレエのお稽古があって日曜日発表会だからです。帰るとき泣いちゃった。もうちょっといたかったのに・・・みんなとわかれるのがつらかった。でも、小菅の湯に入ったので、元気が出ました。電車の中でも泣きました。森がないのももっと森で遊びたい、一度住んでみたいと思います。

甲斐はロボットの眼鏡(8 環)をかけすぎて鼻を痛くした。こんな出来事も、じつに冒険学校の持つ一面だと言いたい。一緒だからやりたいことがある、皆だから楽しいことがある。「キキは黒髪が似合うねえ〜」

リボンをつけたあおいちゃんにそう言うと、彼女はくるっとこちらを向いて、

「ショートカットっていうんだっよ!!」……笑った。

今回のキャンプは、子供が 9 人、スタッフが常に 10 人足らずと、じつに少人数のキャンプだった。夜も更ければすぐ囲炉裏に 3~4 人になって寂しいけれど、でも、だからこそ一人ひとりとの時間は長く丁寧になる。たつきと道路に寝転がって空を見たり、リュージの長風呂に延々と付き合ったり、「みんなには内緒だよ」と誘われて大地やひなたとカブトムシ用の桃を仕掛けに行ったりと、ゆっくりビールを飲む時間もないほどだった(飲んでいたけど)。

そんな中で、誰に話しても「そうだよねえ」と頷き合ったのが、さくらの大人びた様子。小学校 6 年生の彼女はいつの間にやらずいぶん大きくなって、男性陣のケツを蹴飛ばしてきたやんちゃはどこへやら、すっかりお姉さんの顔をしていた。ゆりあやみれいの世話をしたり、そうでなければぽつんと椅子に座って、みんなを見ながら何やらブツブツつぶやいたり。彼女も来年はもう中学生。もっとゆっくり大人になればいいのに。……

そして、ゆりあ。5歳の彼女は小さくて、でもすごく元気がかわいくて、ああ、もし自分の子だったら100パーセント甘やかしちゃうだろう、と思うような、そんなワガママですてきな姫君だった。この子がまた、よく歩く。よく走る。よく話す。ついて行くこちらはへとへとになるのだけれど、言うことを聞かなくても、ソッポを向かれても、「まーしーのせいで、まーしーのせいで!」とわめかれても、頬はゆるみ目はやに下がつて、

「そうかあ」

とか、

「ごめんね」

とか、

「仕方ないなあ」

とか、いうだけ。

ところで、最後に一つ、スタッフのすてきな涙を紹介しておしまいにしたい。名前はちあき。サークル「ちえのわ」の二年生で、その中では最も長く、三泊四日の日程だった。女の子のスタッフが少ない中で彼女はじつに貴重な存在で、4 日に帰ると思われていた彼女が 5 日までいる、と分かったときには拍手喝さい、スタッフ一同諸手を挙げて喜んだ。女の子たちの面倒をよく見てくれて、滝にも飛び込み——いや、雫さんに突き落とされ——、「今回の MVP」と黒ちゃんにいわしめるほどだった。

時間の長さではなく、愛する一瞬がその理解を生むのだとロマン・ロランは書いたけれど、しかし、量が質に転化するということもまた、普遍的な命題の一つである。だから、一泊二日の short trip ではなく、幾度も寝食を共にした彼女だからこそ、感じる場所があったのだろう。夜、佐々木のおっちゃんが「かなしいお知らせがあります」と皆にちあきの帰りを告げたとき、皆ええええーと声を上げ、ふと、ちあきがうつむくを見て、あ、と気付いた。泣くんた。ちあきは泣いているんだ。それはすぐ皆の知れるところになって、からかいつつ、慰めつつ、囲炉裏端で皆はしゃぎ回った。はるちゃんが、

「しんご、何か一言」

と求めると、しんごは両手に持ったカルシファーをちあきに近づけ、

「ばあー」

といって、皆を笑わせた。その涙が一つの総括。



「こすげ冒険学校」の終了後、寝袋を干し、食器を洗い、キャンプ場を片付け、食材を買出し、酒を飲み、休養をしてから、次の「やまめキャンプ・いわなキャンプ」を迎えました!!

その3 「冒険学校 やまめ・いわなキャンプ」 8.11～13(1泊と2泊)

親子で参加できる『やまめキャンプ・いわなキャンプ』を今年も開催しました♪初日は相変わらず・・・雨の中のキャンプとなりましたが皆さん笑顔ありのキャンプでした。次回はきっと晴れますよ～♪

参加者 25 名の 1 年間で一番にぎやかなキャンプとなりました～。



初日は雨の予報だったので、スタッフで事前にブルーシートの屋根を張っておきました。だんだん上手になりますね！！



川で遊び続けました～！



3 月に仕込んだ味噌の天地返ししてもらいました。



小林慶亮くんが講師でうどんづくりも行いました。

カジカつき初体験 阿部幸輝くん(小4)

8 月 11 日から 12 日の「やまめキャンプ」に父と参加した。大地くんと友達になってハイジのブランコに乗った。そのブランコからは、川が見えてきれいで風がとても気持ちよかった。

昼ごはんのヤマメがとても美味しかった。川遊びの時、川がとても冷たかったけど、大地くんと川に飛び込みをずっとしていると慣れてきてとても楽しかった。

一番印象に残ったところは、カジカつきだ。このカジカをヤスで、「ザクツ」とさすところが嬉しい楽しい。カジカを突くのはめったにできないから夏休みの思い出になったと思う。

どれも、やったことのない経験でとても面白かった。やさしくたくさん、色々なことを教えてくれたスタッフの方と、遊んでくれた友達に「ありがとうございます」と言いたいです。



男の子たちは薪割りで大活躍！！



小菅フィッシングビレッジでニジマス釣り



ご参加・ご協力ありがとうございます！来年も待ってます♪

冒険学校「やまめ・いwanaキャンプ」でお世話になりました和田岳志朗(小5)です。

キャンプ楽しかったです。一番楽しかったのは、魚釣りでした。熊や、鹿の肉がおいしかったです。また食べたいです。コップ忘れてきたので、またキャンプに参加します。

和田峻太郎(中1)です。

スタッフの皆さんと、たくさん話せて楽しかったで～す。

鹿の肉と、魚の塩焼きおいしかったです。(満腹!) また、食べたいです。星の観察するぞ～!! 来年もキャンプいくぞ～!! 魚釣りするぞ～!! みんなであそぶぞ～!! 来年も参加します。

その4 「タイ環境学習キャンプ」

8.18~27(9泊10日)

2012 タイツアーは、これまで交渉を進めてきた中込ミさんが行けず、どうしようと思っている中、実施しました。

7名の参加者。初日夜のドリアンパーティー(ラジャバト大学チナッタ先生との差し入れ)。ドリアン好きな私にとって、一番タイを感じる時でした。

翌日からは、バンコクを離れ、ウタイタニー、バンライのパンダキャンプ。シリポンさん始め、友人が出迎えてくれました。

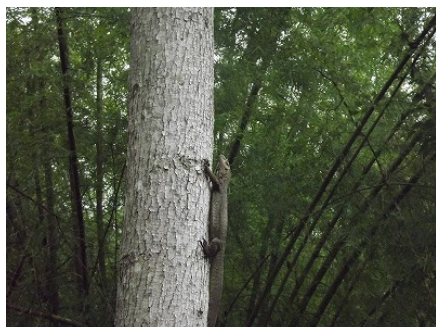
世界遺産のファイカーケン野生動物保護区。ここで、なんと、孔雀と、バンテン(野生の牛)を見ることができました(今まで、足跡と羽根を見ただけだったのです)。

恒例のワークショップは、アイヌ民族について中込メが話しました。10年近く北海道二風谷の貝澤さんはじめとするアイヌの人たちに学んだことを話しました。近隣の少数民族のラオウエン、カリアンが集まってきて、後半、いろいろ楽しい話し合いになりました。

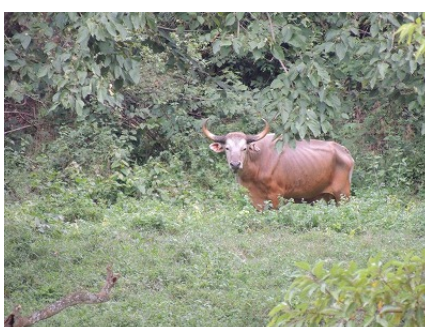
た。その日の夜には、ラオウエンの伝統的な踊りを見せていただきました。いろいろ踊り等の交流があり、日本側は阿波踊りを披露しました。

パンダキャンプでのフォークミュージックのタベには、旧友のクルーポーさんも来てくれ、更に、3箇所の自然保全を行っている団体のメンバーが来てくれ夜更けまで交流しました。その中にはファイカーケンの所長さんまで、おいで下さり、無礼講で、楽しみました。「ファイカーケンの職員たちには、広くいろいろな見聞をさせたい。日本にも行かせたい。」とおっしゃっていました。

バンコクでは、TJクラブ、ラダワン先生、スリワット先生、チナッタ先生、昨秋日本に来た大学院の人たちと楽しい交流を持てました。若林さん、ポンティープさん(今回大学院の卒業式にも参加させていただきました。)いつもありがとうございます。2013年をまた考えています。(代表理事 中込卓男)



ミズオオトカゲ



バンテン



サイチョウのお面?

日 時	活動	場所
8/18(土)	成田集合 成田→バンコク DL283 (デルタ航空) 23:00 バンコク スワンナプーム国際空港着 両替	プラナコン グランド ビュー ホテル泊
8/19(日)	バンコク→ウタイタニー、バンライ 10:30AM ホテル発 (バンで移動) 途中、 ショッピングモールで買い物、百年市場で船に乗り、寺院等を見学。	パンダキャンプ泊
8/20(月)	ワークショップ 「ローカルな知恵と文化の交流」アイヌ民族の知恵について中 込メが発表、少数民族ラオ族、カレン族、他教員が集まった。 夜、ラオエンのカルチャーショー。阿波踊りを披露した。	バンライ、パンダキャンプ泊
8/21(火)	ファイカーケン <u>(HKK)</u> 野生生物保護区 (世界遺産) へ出発	HKK 泊
8/22(水)	HKK バードウォッチング ネイチャートレイル 孔雀・バンテン (野生の 牛) が見られた。 夜 コウモリ観察 (ランサック)	HKK 泊
8/23(木)	バードウォッチング後、バンライへ 木曜市場、タイマッサージ ミュージックコンサート (夜) HKK (所長さんもいらした) はじめ近隣の自然 保護団体が集った。夜更けまで交流。	パンダキャンプ泊
8/24(金)	ラオウェンの織物見学、プーワイ洞窟。コーウォン寺院見学。 夜、地元の学生による音楽パフォーマンス	パンダキャンプ泊
8/25(土)	バンコクへ 9:00AM 出発 午後 ショッピング 夜、ポンチップさんの大学院卒業セレモニーに参加	バンコク ホテル泊
8/26(日)	プラナコン・ラジャバト大学環境教育センター、TJクラブで、ラダワン先生、 シリワット先生、院生たちに案内されコークレット島、ワットアルン寺院ほかバ ンコク市内観光。 タイスキの夕食会	バンコク ホテル泊
8/27(月)	バンコク→成田 ホテル発 <u>1:00AM</u> DL284 05:40 バンコク発 14:20 成 田着 成田解散	成田

『タイ スタディツアーを終えて』

東京コミュニケーションアート専門学校 (TCA)

花井 美穂さん

空港で待ち合わせをしていたのですが、私が今回のメンバーの顔合わせに参加できなかったこと、今回初の海外旅行でとても緊張していました。

初日、ホテルに着いてからとても疲れてすぐ眠ってしまったりと、今考えればとてももったいないことをしたなと思います…。

私たちの学校では、野生動物保護という特殊な専攻で学んでいるため、タイのファイカーケン野生生物保護区でのレンジャーさん達のお話を聞いたことは大変貴重な体験でした。ファイカーケンでは主にトラの保護をしているそうなのですが、定点カメラでの映像を見て、野生のトラを (映像ですが) 見られるとは思っていなかったのもとても興奮しました！

その他にも、野生動物の痕跡、日本では見られないような

色とりどりの鳥たち、植物、昆虫など目に新しいものばかりで写真のメモリーいっぱい撮って大切に保存してあります。

タイに行って、一番心配だったのがご飯だったのですが、おいしくて何度もおかわりをしてしまうくらいでした。辛いものが苦手だったのですがちゃんと日本人仕様にしてくれていて安心しました。パンダキャンプでのご飯が一番おいしかったです。

今回行った季節は、沢山の果物が旬を迎える頃だということで、あるものほぼ全て食べてきました。ドリアンのあんな大きな塊にかぶりついて食べるのはこれから先無いのではないかと思います。果物の中でもマンゴスチンは一番おいしくて、皆で夜のデザートに食べました。

中込さんを始め、神尾さん、田中さん、現地で落ち合った若林さん、porntip さん、西田さんや同じ TCA の学生 2 人に色々とフォローしていただき、だんだんと慣れてきて楽しい旅になりました。機会があれば、また参加したいと思います。ありがとうございました。



『タイ環境学習キャンプの感想』

東京コミュニケーションアート専門学校 (TCA)

山添 裕太さん

今回のタイキャンプの感想としては「満足」の一言に尽きる旅行だったと思います。私は普段、東京都にある動物系の専門学校のなかにある「野生動物保護」という専攻に所属しています。その専攻では、将来レンジャーや、インタープリター、動物園で絶滅しかけている動物を繁殖させたいなどの様々な目標を持つ人たちが勉強しています。今回のタイキャンプも、学校の先生の紹介で知り、応募しました。

僕の今回の目標は野鳥がもともと好きなのでタイの野鳥を観察すること、タイの環境保護の実際の現場を見ること、そしてタイの食事や文化などに積極的にチャレンジすることなどを目標としました。結果としてその目標全てを達成することが出来たと思います。

タイの野鳥はとても色鮮やかで青や、黄色、赤など日本では

まず見られない色合いの鳥たちをじっくりと観察することができました。

他にも日本人ではこのツアーの人たちしか訪れていない「ファイカケン国立公園」でも、滅多に見ることの出来ない赤色の野生のウシである「バンテーン」やジャッカルという少しキツネに似た動物、野生のクジャクなどの野生動物たちを生で見る事が出来て、とても感動しました。そしてファイカケンのレンジャーの方たちから密猟の問題や環境教育でどのようなことを教えているのかなどを知ることが出来ました。

タイの食事に関してはバンコクの大学内の食堂などでは、現地人使用のためか辛いものもありましたが、数日間、お世話になった「パンダキャンプ」の食事は辛くないどころかとても美味しく、毎食 2 人前以上は食べたと思います。他にも、マンゴスチンやドリアンなどの美味しいトロピカルフルーツをたくさん食べました。タイの食事はとても自分に合っていたと思います。

タイの部族である「ラオヴィエン」の人たちの踊りや遊び、伝統的な織物を作っている作業場、活気あふれる市場など、タイの文化にもほんの少しではありますが触れることが出来て、とてもいい経験になりました。

今回のタイキャンプは充実したとてもいい研修旅行となりました。この経験はこれからの自分の人生においてとても貴重な経験になると思います。是非、タイミングが合えば、また次回も参加したいと思っています。

その5 「INCHまつり(ICNHライブ+きのこ探り)」9.29~30(1泊2日)

昨年から開催した「INCHライブ」。同時期に開催している「のびと講座 きのこキャンプ」を合体させた企画「INCHまつり」を開催しました。毎春開催している「のびと講座 野草の天ぷらとお茶つみの会」をベースにしたオープン企画、ということで開催しました。当日は 14:00 からBARがオープン。パーテナーは山梨県内の牧丘町から佐藤秀弥(ひでやん)氏に来ていただきました。ちょうど半年前の味噌づくりのときにたまたま開催したBARが大好評で今回は半年前から予約しました。

ライブにはじまり、きのこチームは山を駆け、小菅村の方も混じり、食・酒・唄の祭典となりました。宴会は深夜まで続きました。翌日は台風 17 号襲来の予報がありつつも、ギリギリまできのこを探し続け、満足の行く 1 泊 2 日となりました。



■ 活動案内 ■

その1 冒険学校「まふゆのキャンプ」

12.22~24(2泊3日)

毎年恒例の冒険学校「まふゆのキャンプ」を体験して、暖かいお正月を迎えませんか？

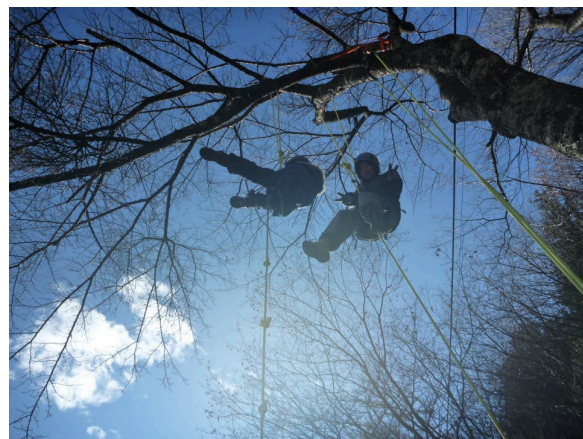
小菅村ではお正月の準備がもうはじまる頃です。日中は、村内を自由に動き、お正月の準備を見に行ったり、村の中でもちょっと面白いところに行きましょう。

焚火・薪割り・ドラム缶風呂・ナイトハイク・星空観察・アウトドア料理・滝探検・・・その場で思いつく限り、いっぱい遊んで、食べて、寝る。そんなキャンプです。個性あふれるスタッフがみなさんの参加を待ってます。



炭窯から炭出しも手伝いました。

最近は雪が降らないけど、水は凍りますよ！！



去年は、ツリークライミングも行いました！

日 程：12月22日（土）～24日（祝・月）

場 所：小菅村のいつものキャンプ場

宿 泊：テントまたは野宿またはログハウス

集 合：12月22日 JR青梅線奥多摩駅午前

解 散：12月24日 JR青梅線奥多摩駅午後

対 象：小学校3年生～中学校3年生 20名

参加費：会員¥20,000 非会員¥22,000

（奥多摩駅からの交通費・食費・宿泊費・保険代などが含まれます）

申込み：ハガキ・もしくはE-mailに住所・氏名・年齢（学年）・性別・電話番号を記入の上、12月14日（金）までに事務局まで参加をお伝えください。

その2 のびと講座「ふたご座流星群観望会」12.15~16(1泊2日)

毎年恒例、冬の小菅村で天体観測しませんか。天体の撮影にも挑戦しましょう。今年も「ふたご座流星群」に出会うことができます。小菅村は東京から近いのですが、星を見るのに具合の良い環境です。



日 時：2012 年 12 月 15(土)～16 日(日)

場 所：小菅村の空が広く、真っ暗な場所

宿 泊：キャンプ場にてログハウス(暖かいです)+寝袋

対 象：中学生～一般 10 名 ※小学生のみは要相談

費 用：会員 5,000 円 非会員 8,000 円

※宿泊費、食費、保険代、教材費を含みます。

講 師：中込貴芳(本会副代表理事)

内 容：日中に観察のポイントや天体の話、天体写真講座を行います。夕刻～深夜まで流星を楽しみましょう。夜食は暖かい鍋でも囲みます。翌日は遅めの朝食、小菅の湯で冷えた体を温めて帰ります。

『INCH の楽しい仲間たち』はお休みで・・・「事務局の仕事」

事務局の仕事～会員の皆さまのため、理事会・運営委員会の決定の元に、偉そうなことから～雑用までこなすのが事務局です。

本会は有給の事務局が一人なので、「事務局長」兼「理事」兼「運営委員」兼「雑用」兼「小菅駐在員」と全てを行います。そういえば、事務局長になっていつの間にか 11 年目になっています。最初から事務局長でした・・・う～ん、今振り返ると、荒い仕事のやり方が多々あったなあ・・・恥ずかしい・・・広い心で見てくださった皆さまに感謝しています。

今回、『INCH の楽しい仲間たち』をまだ連載 4 回目なのに、事務局のことを書くのは、実際に、この夏の本会の主催事業以外の活動を紹介したいので書いている部分もあるのですが、自分で書くという行為はすごくラクで、やっぱり本当は、「楽しい仲間」を紹介するべきなんですけどね・・・原稿依頼が間に合わず、誌面を埋めるという意味でもあっちゃたりします。

<5 月以降の主な業務>

5/30 JT助成事業 2011 年の報告会(鈴木英雄理事と:立川)

6/2-3 企業研修受け入れ(SPBの皆さん)



6/9 日本エコミュージアム研究会研究大会で発表(木俣先生と)

6/10 青梅環境フェア出店

6/23-24 ELF 研修会兼ちえのわ新歓合宿



7/2-3 CONE トレーナー養成会(小諸市へ)

7/7-8 東京学芸大学実習受け入れ



7/21 狛江市第 5 小学校夏祭りへ(ヤマメのつかみどり)

7/29 共催団体のNPO法人エコプラスと会議(神田)

7/30 八王子市教員パワーアップ研修講師(鈴木英雄理事と)

8/16-18 茨城県の高校生星空合宿受け入れ

8/18-19 西多摩昆虫研究会受け入れ



8/22 ちえのわ農学校宿泊

8/23 狛江市デイキャンプ受け入れ(85 名)

8/30 キビ収穫実験(山梨県立博物館)



9/1-3 雑穀研究会シンポジウム

9/7-8 富士山登山ご案内



9/16 トレイルラン大会協力

9/18 理事の代表権喪失登記①(法務局:多摩センター)

9/20 理事の代表権喪失登記②(法務局:多摩センター)

9/24 小金井市貫井南分館の小菅巡検のご案内

その他、雑穀見本園の管理、村内の会議などに出席

今年はよく動きました＝多くの皆さまに小菅に来ていただきました。重ねて感謝申し上げます。そして協力してくれた皆さまに！！
一人体制の事務局ですが、予定がバッティングしない限りは、時間に融通が利くのでいろいろ楽しいというのが本音です。(黒澤)

『植物と人々の博物館』 vol.9

夏が明けて既に秋の気配が漂う小菅村です。この時期が一番過ごしやすそうですね～！

①『第 26 回雑穀研究会シンポジウム開催』の報告

本会理事の井村礼恵さん(あべちゃん)が小菅村に住み、働いている時に小菅村で開催して以来、ちょうど 10 年ぶりの小菅村での開催となりました。



9 月 1 日の初日は、植物と人々の博物館をご案内し、小菅の湯へ寄ってから、宿泊先の民宿「山水館」へ。ミューゼス研究会代表の青柳諭さんによる小菅村の紹介をし、小永田地区の神代神楽へご案内しました。



9 月 2 日は、午前中に研究発表を行い、午後からは小菅村内の雑穀を中心とした案内と雑穀料理づくりを行いました。橋立地区では木下新造さんに、中組地区では、守屋アキ子さんに講師をしていただきました。夜はお話しと懇親会で、植物と人々の博物館館長の木下善晴さんと、雑穀栽培顧問である丹波山村の岡部良雄さんご夫妻に来ていただきました。

9 月 3 日は、朝一番に小菅村の新村長の船木直美(なおよし)さんにご挨拶をいただき、小菅村を出発してお隣、上野原市の西原地区(さいはら)へ。雑穀栽培顧問である中川智さんに雑穀を中心としたご案内をしていただきました。



雑穀研究会のシンポジウムということで、専門家の方が多く、不思議な感覚でした。専門家の方が訪れる小菅村・・・いいですね～！！



② 雑穀見本園の様子

雨が降らない夏でしたが、さすがに雑穀は感想に強いですね。新しい畑は日当たりもよく、雑穀の生育がものすごくよいです。



キビは 8 月 30 日に、山梨県立博物館の収穫実験(石包丁による)で収穫しました。アワも 10 月 9 日に同じく収穫実験で収穫する予定です。

今年はシコクビエも少～しだけ栽培しています。東京学芸大学の環境教育研究センターの農場で苗立てしてもらい、小菅村の雑穀見本園に移植しました。こちらでも遅かった割には良い生育をしています。

『小菅村の動き』 vol.9

今年の夏は本当に雨が降りませんでした。作物の生育もイマイチだったというお話も聞いています。

① 「第 4 回多摩川源流トレイルラン大会」

9 月 16 日に開催したトレイルラン大会では 900 人を超す申し込みがあり(実際に当日の参加者は 750 人ぐらい)、年々盛大になって、村の一大イベントとなっています。スタートは小菅の湯、松姫峠～鶴峠を經由して小菅の湯まで戻ります。全長約 30km を 4 時間半の制限時間で走り抜けます。小菅村観光協会を中心に準備が進められてきました。

多くの村民が協力し、山中の給水所やチェックポイントに立って、お手伝いをしました。



② 11 月 4 日(日)「第 15 回大地の恵まつり」開催

小菅村の物産がいっぱいありますよ。小菅の湯物産館前で、屋台も出ます。本会は常日頃お世話になっている「(小菅村)100%自然塾」の皆さんと、きのこ採り＋販売を行うかも。この時期、クリタケ、ナラタケ、ムキタケあたりが狙い目かなあ～ぜひぜひお越しください。



小菅の湯物産館前が会場です。

③ 「多摩川源流景観シンポジウム」開催

9 月 29 日に、新しい小菅村体育館で開催されました。小菅村では、平成 23 年度より「小菅村源流景観計画」が策定されました。この計画により、小菅の湯から小菅村役場に下る道の途中が、除伐され、景色が良くなったり、村のさまざまな場所で景観計画の成果が活かされています。今後の展開にご期待ください！



橋立地区の「掛け軸畑」も特徴的です。

④ 「よちよちヤマメの唐揚げ」が準優勝！！

5/26(土)27(日)の2日間、開催された『多摩げた食の祭典 大多 B 級グルメ』において小菅村が出品した「よちよちヤマメの唐揚げ」が見事、準グランプリ(シルバーグランプリ)を受賞しました！

今回受賞した「よちよちヤマメの唐揚げ」は現在、小菅の湯にて提供しています。



本会のキャンプではお馴染みですが、ワサビソースがセットが基本です！！

⑤ JR 上野原駅より 季節運行バスの開始

東京方面より便利な富士急バスの発着が、9/29～12/9 まで、JR 中央線上野原駅より、土日祝日のみ。

JR 上野原駅 8:28、14:58 発 小菅の湯行き

小菅の湯 15:20、16:30 発 JR 上野原行

○ 今後の活動予定のお知らせ (2012 年秋～冬)

10 月～11 月 受託事業を多く受けています。ログハウスづくりは隔週で行っていますよ～。

12/15～16 のびと講座『ふたご座流星群観望会』@小菅村 1 泊 2 日

12/22～24 冒険学校『まふゆのキャンプ』@小菅村 2 泊 3 日

※『ログビルダー養成講座』は、毎月第 1・3・5 の週末を中心に活動しています。事務局までご相談ください。

※年明けに第 9 回通常総会を開催いたします。次号のナマステでご案内いたします。

○ 事務局より

●『キャンプじゃエラそうにしてるけど、猟友会では一番のペーペーです。現在修行中です～。クロ』

●『きのこシーズンなのにまだ 1 度しか行けてません。中込ミ氏はお泊りできのこ狩に…ううう はるこ』

○ 事務局の麗しき日々 (KIDS 会報遅延のためネタを披露♪)

- ・シズク完全復帰!! キャンプ後も小菅に遊びに来ました～。
- ・高 3 受験生、がんばれ～。
- ・尚子ちゃんもお母さんになりました。
- ・圭ちゃんも富士山で高山病に苦しみました
- ・亜季ちゃんもお母さんになりました (和泉亜季ちゃん)
- ・さぶちゃん、宮崎から、INCH まつりに来たよ。
- ・ハズムは大学院に進学が決まったもよう。
- ・翔ちゃん、彼女がかわいいもよう。成田空港まで見送りするもよう。
- ・甲斐が車の免許を取ったもよう。誰よりも村内に詳しいので期待!
- ・風馬は高校生。いよいよバイトをするもよう。大きくなったなあ。
- ・にっしー、無趣味で黒に相談。相談相手が微妙だぞ。
- ・小林くん (チョコ) は養殖業から転職したもよう。
- ・佐々木さんは自分の生徒から「佐々木せんせ～」って呼ばれてた。
- ・黒は今さらながら、AKB にはまっているもよう。
- ・新しいちあきちゃんはこの夏の MVP でした。
- ・あおいちゃん、就職が決まったもよう。オメデトウ!!

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか?

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30 年以上にわたって活動を続けています。2004 年から NP0 として再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、会費の納入をお願いします。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下 5 つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額 (1～12 月) です。会員は、主催事業に会員価格でご参加できます。

また、皆様からのご寄付も募っております。

正会員: 10,000 円 一般会員: 5,000 円

学生会員: 3,000 円 賛助会員 (個人・団体): 10,000 円

家族会員 (一家族): 6,000 円

「家族会員」は家族全員が会員になります。なお、正会員・賛助会員の方は、家族会員と同等に家族全員が会員になっておりますので、引き続きご参加くださいませ。

郵便振替口座: 00100-2-665768

口座名: 特定非営利活動法人自然文化誌研究会



ナマステ 109 号

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌

<発行日> 2012 年 10 月 1 日

<編集> 自然文化誌研究会 事務局

<発行> 特定非営利活動法人

自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局> 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 4115

TEL & FAX: 0428-87-0165

携 帯: 090-3334-5328 (事務局黒澤)

E-mail: npo-inch@wine.plala.or.jp

H P: <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>